

■ 室蘭港フェリーターミナルオープン式について

室蘭市 港湾部 港湾政策課

フェリー航路について

室蘭港のフェリー航路は、昭和42年の青森航路を初めとして、過去には同時最大5航路があり、多くの方々にフェリーを利用いただいておりますが、燃料高騰等によるフェリー会社の経営状況の悪化から、航路の廃止が続き、平成20年に全てのフェリー航路が廃止となりました。

平成20年9月8日の室蘭青森航路廃止の発表を受け、同11月には「室蘭港フェリー航路誘致促進期成会」を設立し、要望活動を開始。その後も、北海道開発局、北海道運輸局、北海道、道議会議員、市議会議員、商工会議所の皆様の協力をいただきながらポートセールスを続けて参りました。

そうした取組を行ってきた中、川崎近海汽船株式会社から、平成27年3月、「宮古～室蘭のフェリー航路の開設を検討する」と公表していただき、翌年の平成28年3月に正式に、「平成30年6月の航路開設」が決定されました。

その結果、本年6月22日宮古と室蘭を結ぶ新たなフェリー航路が誕生することとなり、10年ぶりのフェリー就航に向け、この度、フェリーターミナルビルを含む施設の改修に着手しました。

フェリーターミナルビルの概要

室蘭港フェリーターミナルは、当時室蘭港で運航していたフェリー会社が平成6年に建設し、航路廃止に伴い、平成23年に室蘭市に譲渡されたものですが、この度の宮古～室蘭港航路開設にあたり、同時最大5航路に対応した施設規模から縮小して建て替えを行うか、改修を行うかについて検討を行い、結果的に将来の航路増に対応するため、改修することに決定し、改

修工事を昨年5月に着手して、本年3月に完成しております。

ターミナルビルの改修概要は、建築関係としましては、屋根・外壁・内装改修工事、フェリーへとつながる空中歩廊の増築及び改修工事。また、照明設備・放送設備改修などの電気設備工事、冷暖房設備工事、多目的トイレ拡充・授乳室新設などの衛生設備工事を実施しております。

また、車両が乗りこむ可動橋の改修、乗客が乗り込む人道橋の更新といった機械工事、更にフェリーの船型に合わせた岸壁の防衝工の改修工事、駐車場への車両乗り入れ口や標識などの外構工事、舗装補修や区画線工事、家畜給水工事などの各土木工事についても実施し、内観・外観ともに新しいフェリーターミナルに生まれ変わりました。

フェリーターミナルオープン式

供用開始に際しまして、平成30年5月22日に「室蘭港フェリーターミナルオープン式」を執り行いました。式典には、港湾関係者ら約50名が出席し、10年ぶりとなる宮古室蘭フェリー就航に向け、来賓からお祝いの言葉をいただき、最後には、滝口北海道議会議員、北海道開発局 眞田港湾空港部長、北海道運輸局 佐藤海事振興部長、川崎近海汽船(株) 寅谷常務取締役ら8名によりテープカットを行い、リニューアルオープンを祝いました。

同日には、川崎近海汽船株式会社室蘭支店の事務所も開所され、フェリー就航に向けた準備が進められております。

